

彼女の名前は
春賀麗乃、

玄関にいる麗乃は、
ほぼ裸に等しい
姿だった

ふう……

よしっ

外は地面に雨粒が
当たる音がする
程度には強い雨、

風は吹いておらず、
ほぼ垂直に
雨粒が落ちている

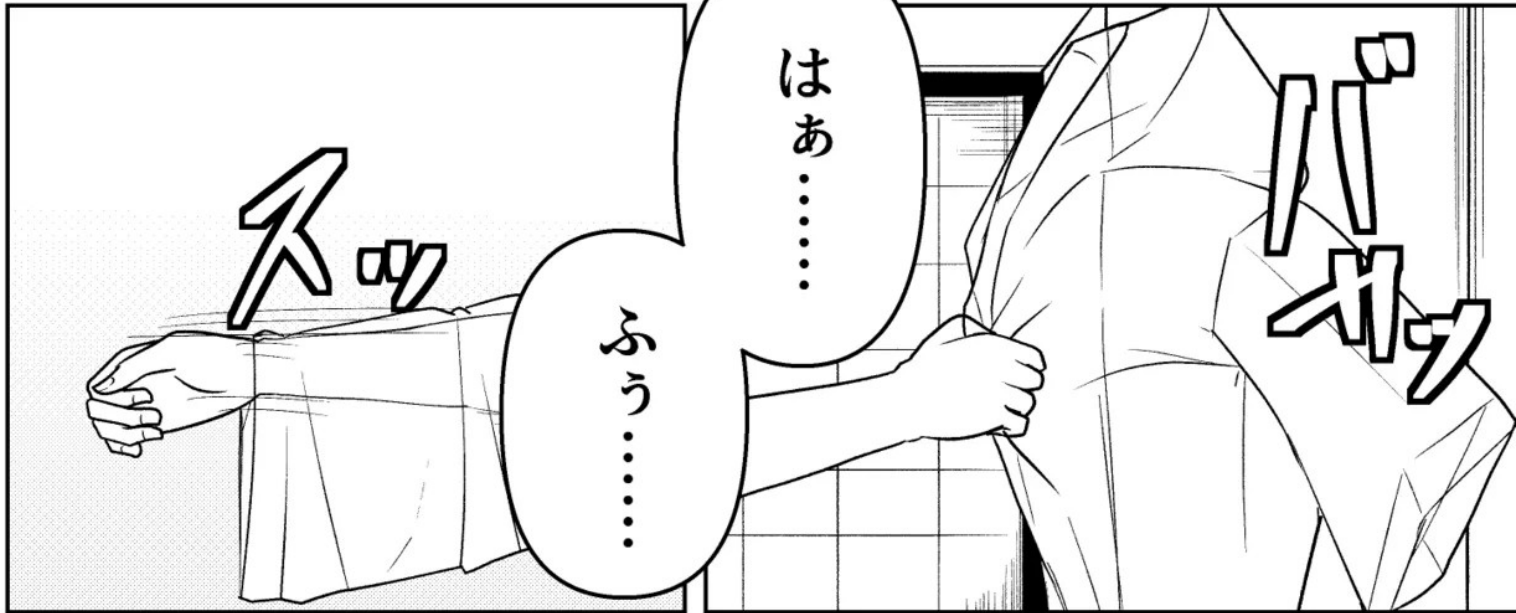
そんな中、
麗乃は家から外に
出ようとしていた

怪奇!? 軟体妖怪リターンズ!!
麗乃が雨が降る夜の街を露出散歩!?

はあ



!!



アッ

はあ……

ふう……

バッ

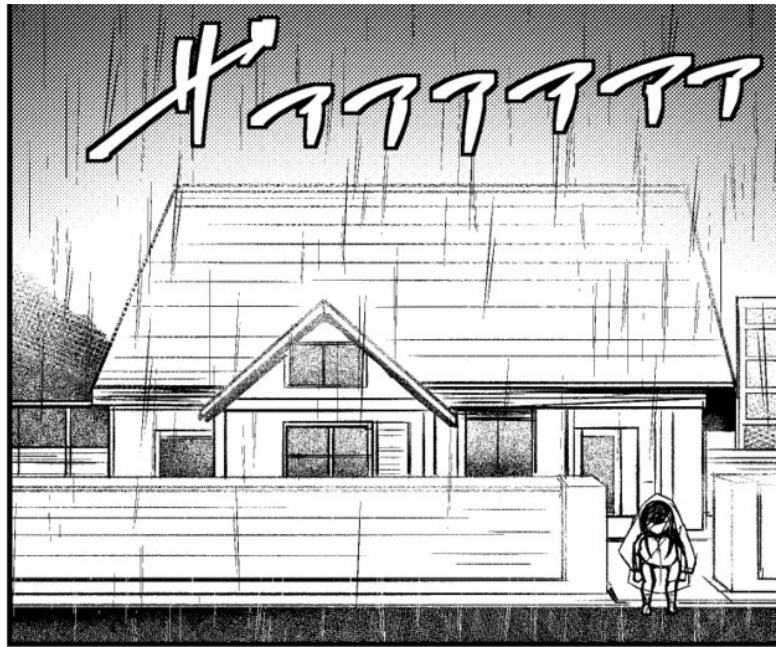


ガッ



アッ

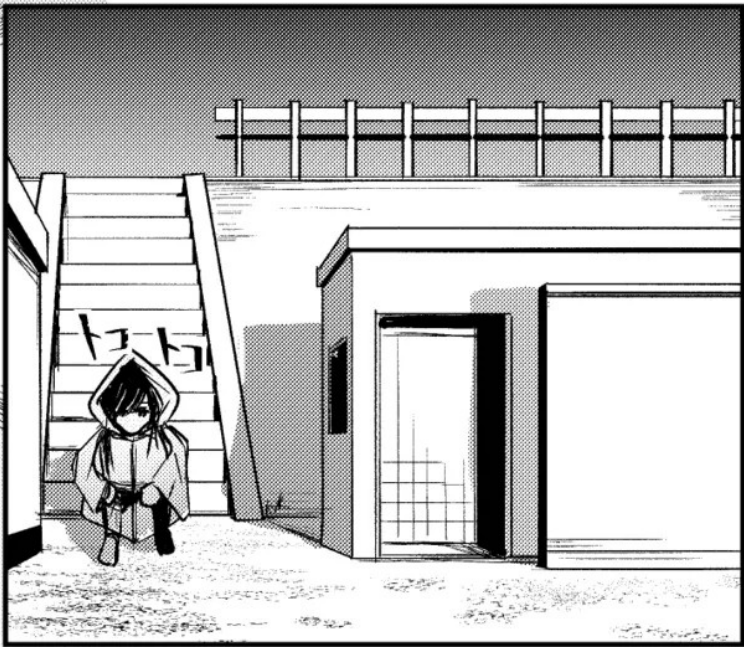
よし



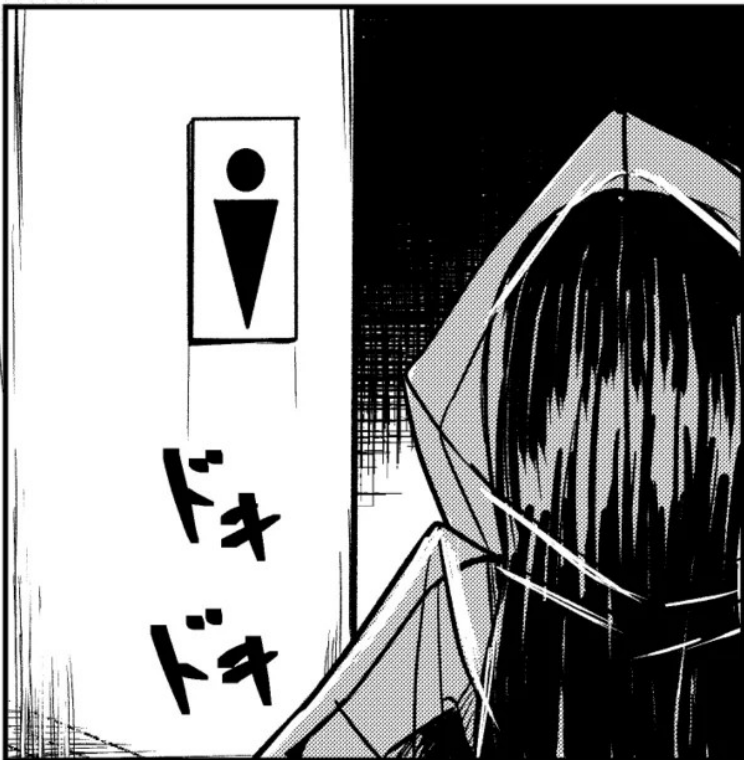


ふう……やっぴり、

結構キツイかなあ……



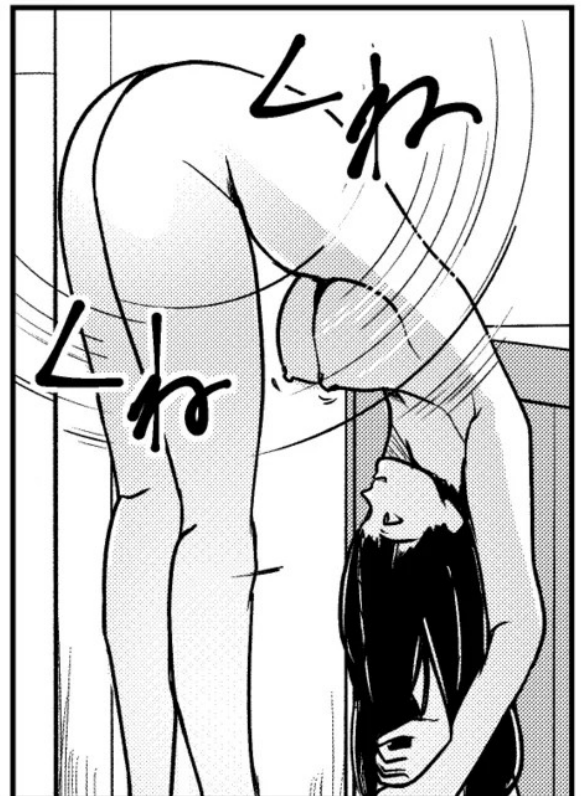
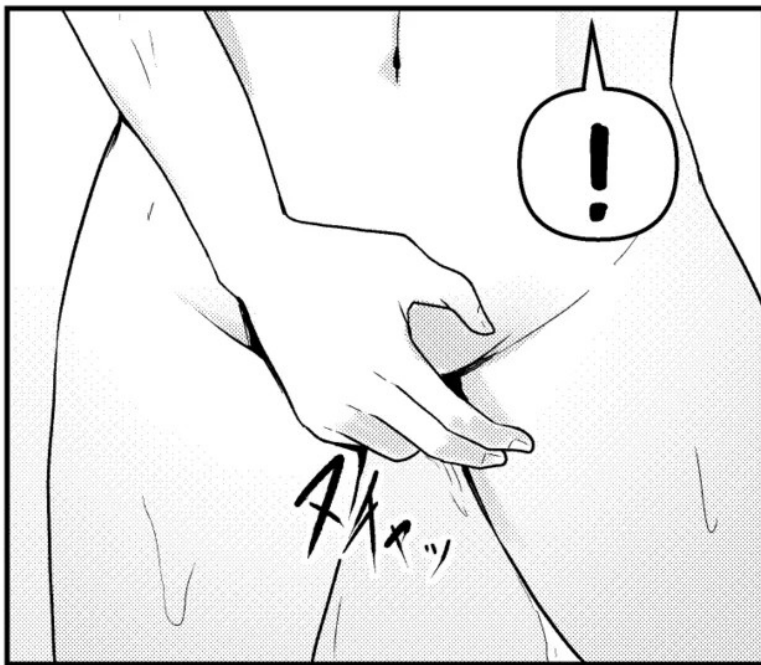
トコトコ

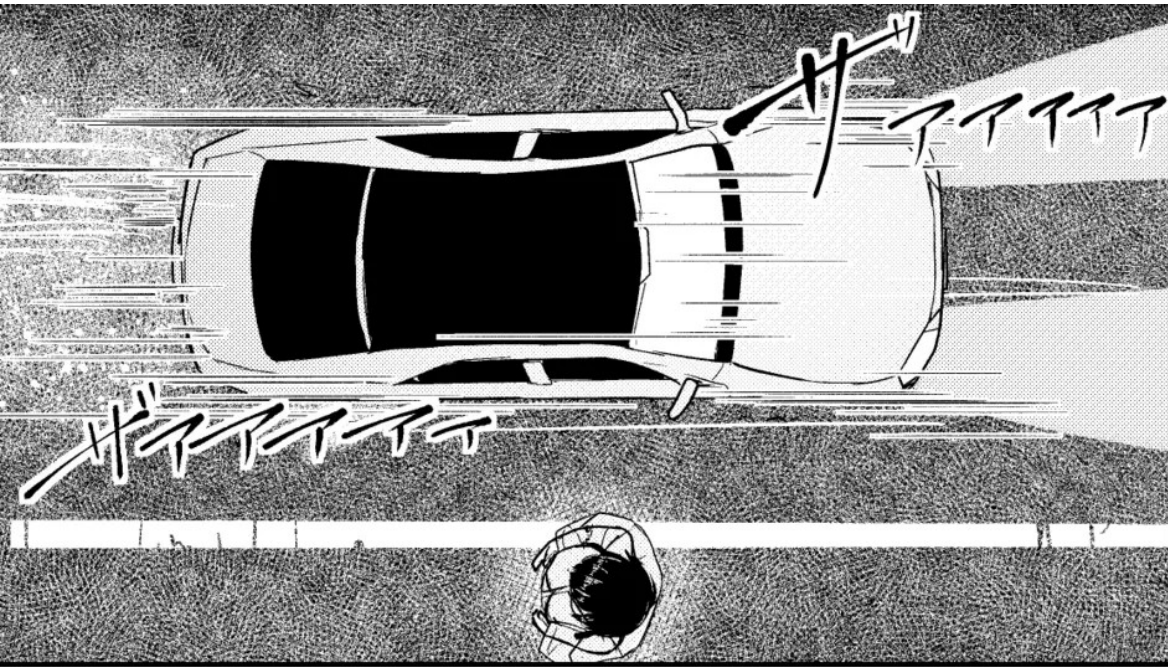


ドタ
ドタ



カカ
カカ







いまなら……
いけそう？



誰も通らないし、

どの家も
カーテンが
閉まってる



ん、う……っ！

ひやう……っ！

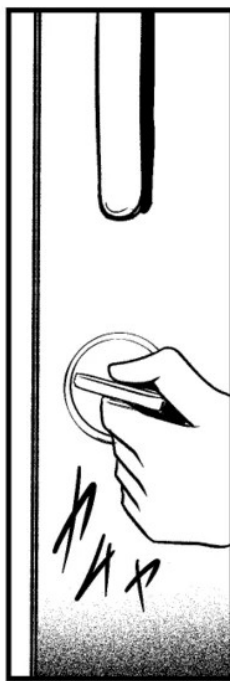
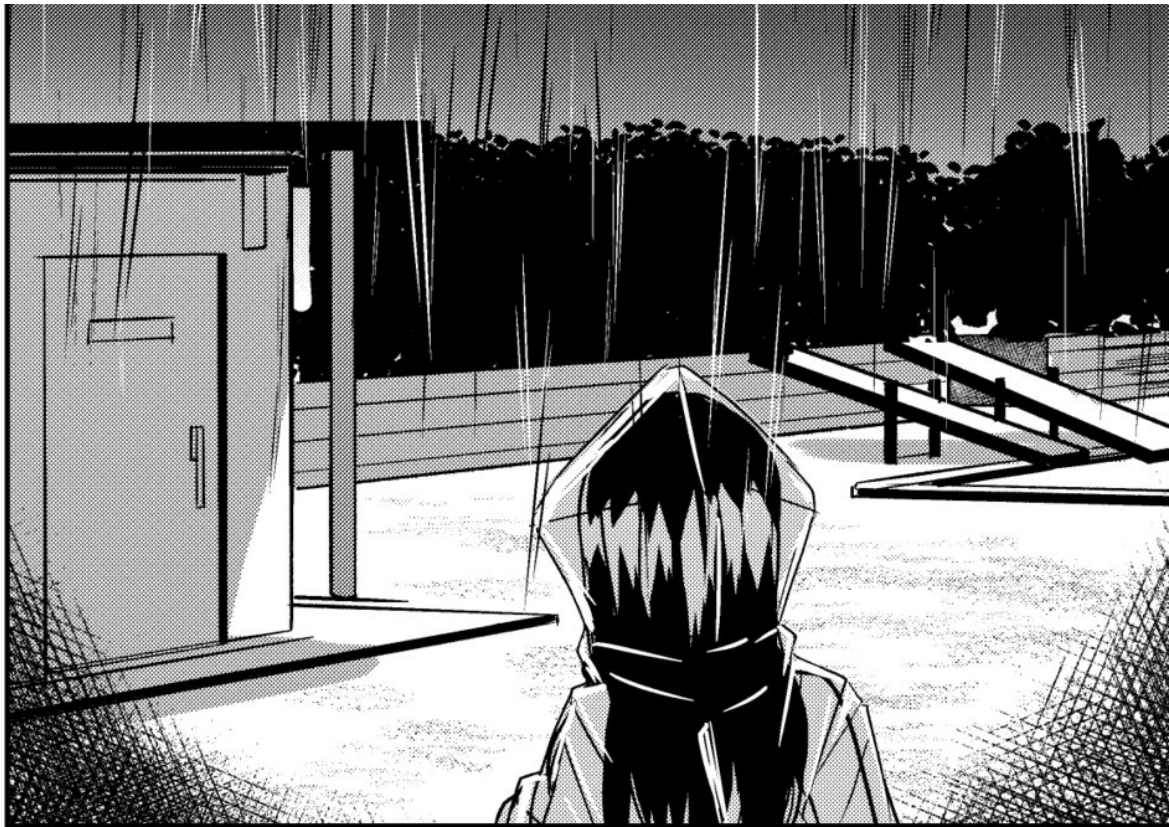
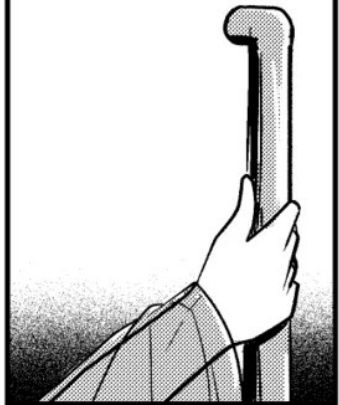


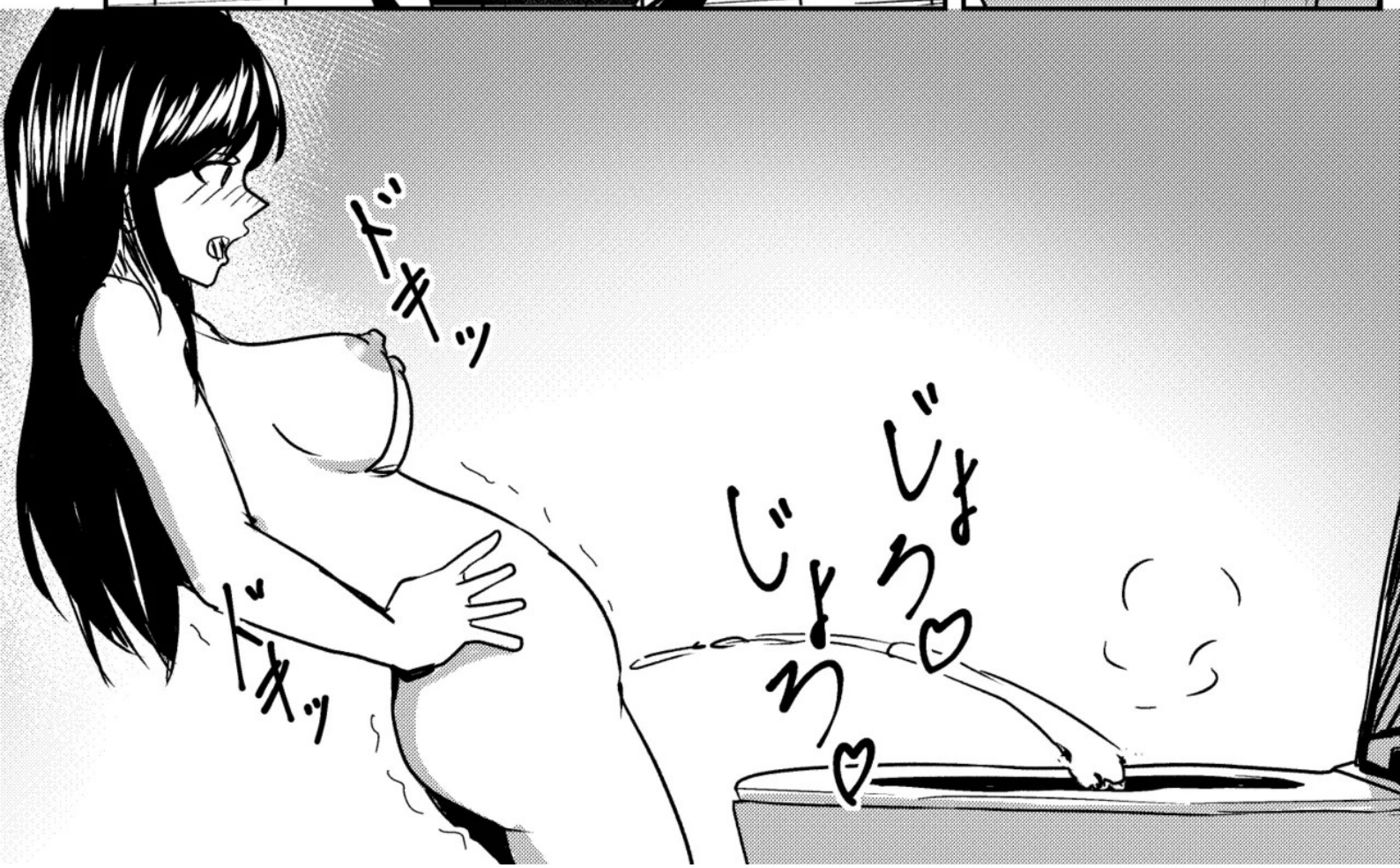
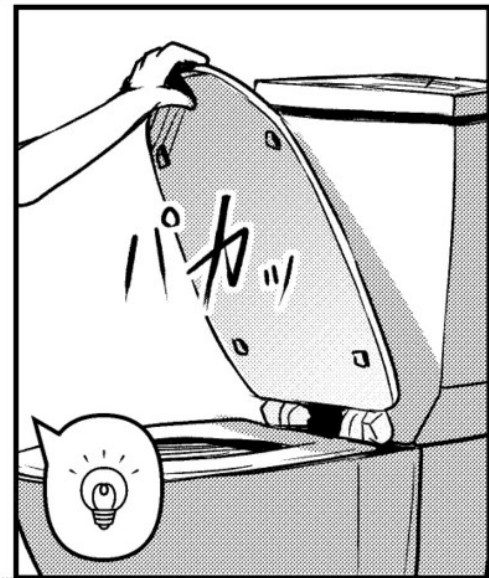
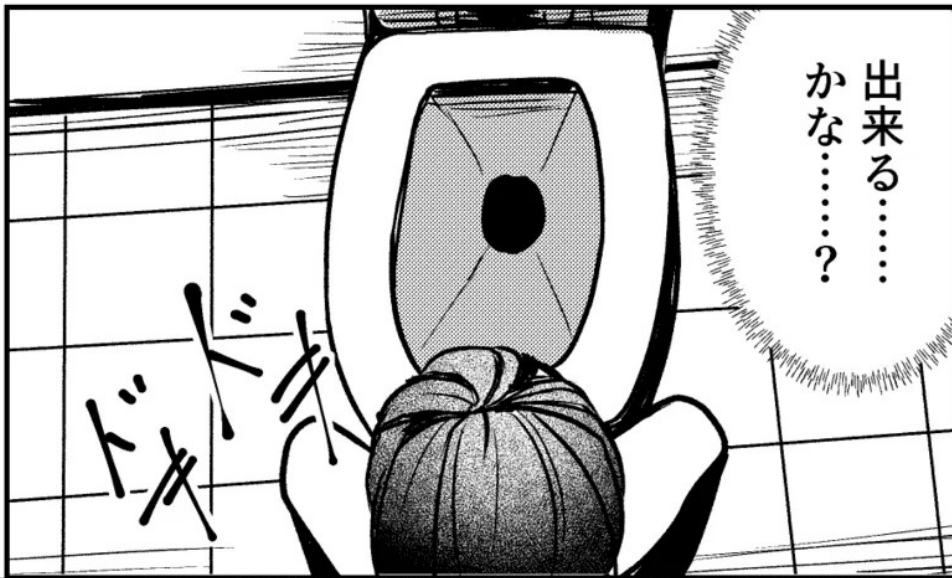
ここで、コートを
脱いじゃおうか……

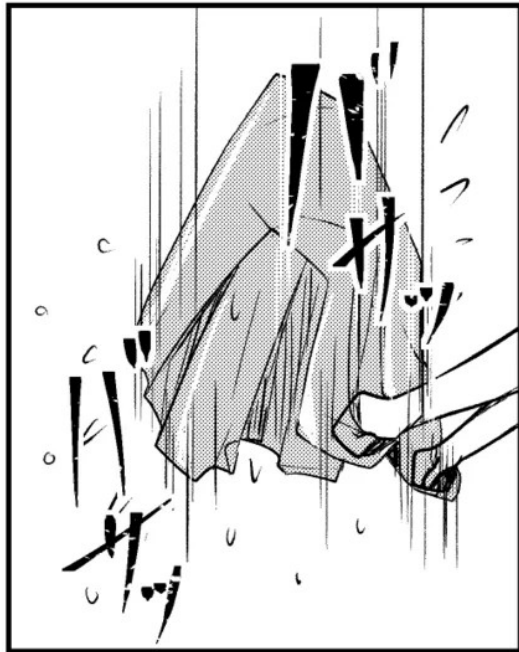
さすがに
それはダメ……！！



多目的トイレ







でも、
両親が旅行に
行って、

しかも雨が降る
機会なんて
滅多にないし……

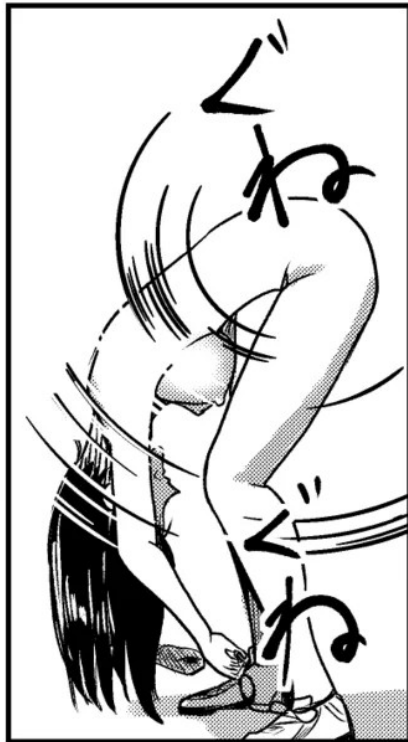


……そろそろ
帰ろうかな？



少し回り道をして……
それから帰ろうかな

この時に素直に帰って
いれば良かったと、
後に麗乃は
振り返るのだった



……ほんとに全然人に会わない……
会わなくていいんだけど

まあ、それならそれで楽しむけど……

……そういえば、この先に大きな橋があったっけ……

ここを行って戻って、それで終わりにしようかな

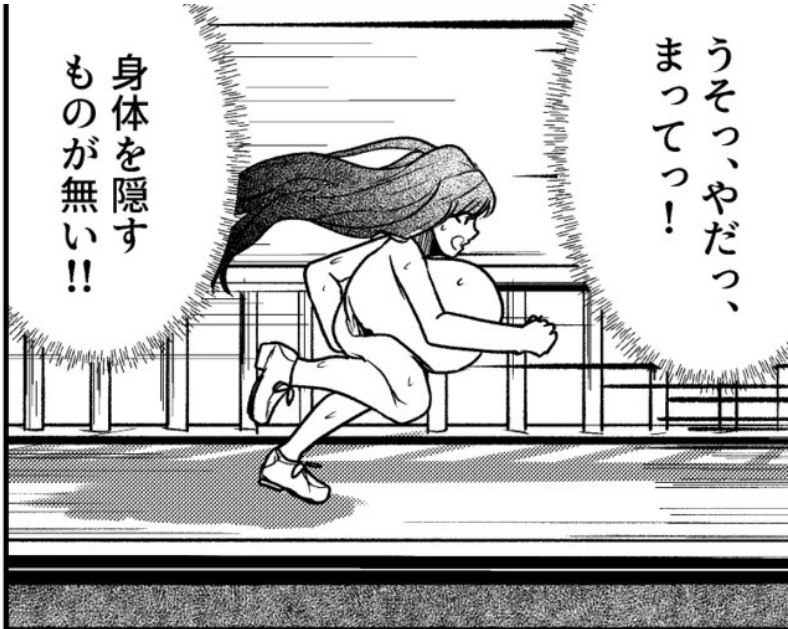
トコトコ







しかも、
家の鍵が
ポケットに……



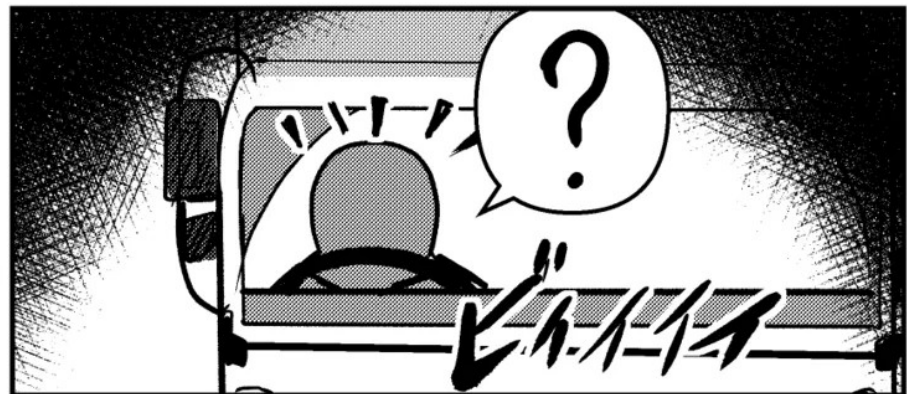
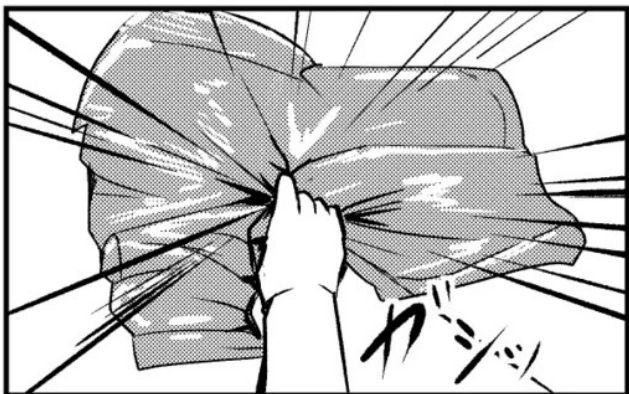
うそっ、やだっ、
まってっ！

身体を隠す
ものが無い!!



み、見られる……ッ

気づかないで
気づかないで
気づかないで……!



?

ビィィィィィ

